

スーパーリフレース

JIS A 6909
可とう形改修塗材RE相当



下塗り

特長

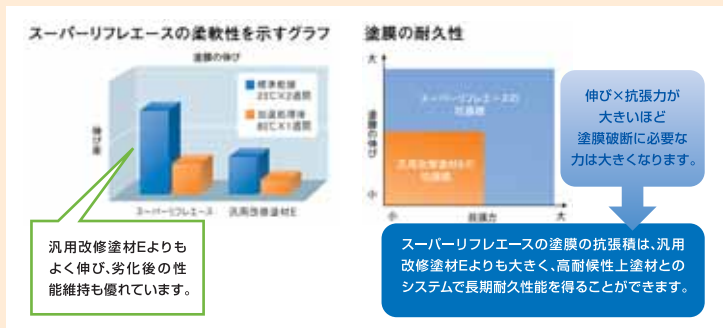
■柔軟性と強度を備えた強靱な塗膜

スーパーリフレースは、JIS A 6909可とう形改修塗材REの品質を満たす1液タイプの反応硬化形塗材です。IPN構造に金属キレート架橋を導入することにより、温度等の環境変化に対して安定した強靱な塗膜が得られ、1液形でありながら、2液形主材に匹敵する性能を発揮します。また、従来品のリフレースよりも柔軟性に富み、より下地の追従性に優れた防水性の高い塗膜を形成します。

アクアフロンティアHG-II、マイルドフロンティアHG、水性ハイテンスラ等の当社高耐候性上塗材との組み合わせで高耐久のシステム塗膜を得ることができ、長期間にわたり、お客様の大切な資産を護ります。

■抜群の付着力

親和力の強いエポキシ樹脂とIPN構造のダブル効果で、安定した付着力が得られます。様々な下地へ強固に密着し、躯体を保護します。



■高性能・経済性・作業性の3本柱

スーパーリフレースは、長期耐久性に優れ、建物の長寿命化に貢献します。1液タイプのため混合の手間が省け、材料ロスも少なく済みます。

また、塗装時のスパッタリング（塗料の飛び散り）が少ないため材料ロスが少なく、経済的で作業性にも優れた材料です。

スーパーリフレースは、「高性能」、「経済性」、「作業性」という3本の柱をもつ、改修材料としての要求性能を満たした材料といえます。

■省工程

シーラーレスのため工期短縮が可能です。

■IPN構造と金属キレート架橋

旧塗膜の劣化表面と安定した付着性を得られるエポキシ樹脂と躯体保護機能をもつアクリル樹脂とを化学結合により一体化することでIPN構造（相互侵入高分子網目構造）を形成し、さらに金属キレート結合を導入することで、環境変化に柔軟に対応できる構造を実現しました。



■適用下地、工法、デザイン、上塗材の選択がオールマイティー

適用下地	多種類の旧塗膜（リシン、Eタイル、単層弾性、弾性タイル、マスチック他） コンクリート、モルタル、ALC等（除ふっ素樹脂仕上面）
適用工法	中毛ローラー、多孔質ローラー
適用デザイン	既存パターンの復元（薄付け仕上げ）、新パターンの設定（厚付け仕上げ）
適用上塗	各種水系上塗材、各種（1液、2液）溶剤形上塗材、単層弾性

荷姿

商品名	容量	色相	一般名称
スーパーリフレース	16kg	白色	多重架橋形水系エポキシ微弾性下地調整塗材

標準塗装仕様（改修例）

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
改修例 1（さざ波仕上げ、水系4フツ化ふっ素セラミック塗料仕上げ）						
下地調整	高圧洗浄等で被塗物表面の劣化塗膜や汚染物を除去し十分乾燥させる。旧塗膜剥離面は主材により修復する。					
主材塗り	スーパーリフレース(水道水)	3~6	0.8 ~ 1.2	1	16時間~7日	多孔質ローラー
中塗り	アクアフロンティア中塗(水道水)	5~10	0.12 ~ 0.15	1	3時間~7日	中毛ローラー・はけ
上塗り	アクアフロンティアHG-II(水道水)	5~15	0.12 ~ 0.15	1	-	中毛ローラー・はけ

注)・リシン面など吸い込みが著しい場合には、下塗りに「シントー水性 M シーラー」を使用してください。・下地の状況により使用量が変わることがあります。
・工程管理を行う場合、中塗りは上塗材の近似色にて塗装してください。

改修例 2（旧デザイン復元仕上げ、1液水性アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ）

工程	塗料名(希釈剤)	希釈率(%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(20℃)	塗装方法
改修例 2（旧デザイン復元仕上げ、1液水性アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ）						
下地調整	高圧洗浄等で被塗物表面の劣化塗膜や汚染物を除去し十分乾燥させる。旧塗膜剥離面は主材により修復する。					
主材塗り	スーパーリフレース(水道水)	4~7	0.25 ~ 0.45	1	4時間~7日 ^{※1}	中毛ローラー
上塗り	水性ハイテントップ(水道水)	5~15	0.12 ~ 0.15	2	2時間~7日	中毛ローラー・はけ

注)・リシン面など吸い込みが著しい場合には、下塗りに「シントー水性 M シーラー」を使用してください。
既存膜が溶剤可溶性塗膜（アクリル樹脂塗料や水系上塗塗料等）で、旧デザイン復元仕上げ（中毛ローラー塗装）仕様の上塗りに溶剤形上塗り塗料で仕上げる場合には、塗膜のリフティング（チヂミ）などの不具合が発生することがありますので避けてください。
・下地の状況により使用量が変わることがあります。・工程管理を行う場合、中塗りは上塗材の近似色にて塗装してください。
・旧塗膜が弾性タイプの塗装時には弊社までご相談ください。

※1) 中塗り、上塗りに弱溶剤、溶剤形の塗料を塗装する場合には、塗装間隔を16時間以上空けてください。

ご使用上の注意事項

●現場塗装の一般的禁止事項

1. 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。気温が低くなりますと乾燥が非常に遅くなります。低温時に塗装するときは加温対策が必要です(気温15~30℃の範囲が良好です)。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、塗膜の乾燥造膜が悪くなり、期待する塗膜性能を発揮できないことがあります(40~70%RHが良好です)。
3. 被塗面に結露があるときは塗装を避けてください(特に朝夕の結露には注意してください)。
4. 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
5. 強風、砂ぼこりが多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが塗装中、乾燥中に付着すると塗膜性能低下、仕上がり不良となります。
6. コンクリート、モルタルへの塗装の場合、表面含水率10%(デジタル水分計の場合は含水率5%)、pH10以上のときは塗装を避けてください。コンクリート、モルタルが未乾燥状態のときは、アルカリ成分が多く、塗膜の付着性および仕上がりにも悪影響を与えます。
7. 軽量モルタル、窯業系サイディング、発泡ウレタンを使用した外壁材などの蓄熱されやすい建材に塗装する場合は、既存膜の種類・下地の状態(蓄熱、含水など)の影響で不具合が発生することがあります。
8. 新設の場合は、必ず下塗にシーラーを塗装してください。又、旧塗膜が脆弱な場合にもシーラーが必要な場合がありますので、あらかじめご相談ください。
9. 押出成形セメント板、GRC面、フレキシブルボードなどは、下塗として、浸透性マイルドエポシーラー、浸透性エポキシシーラーを使用してください。
10. たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をお願いします。
11. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面などの素地に巣穴や段差などがある場合は、セメント系下地調整材(樹脂入り)などで処理してください。
12. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類や年齢により塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合をおこすことがあります。この場合、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、アンチブリーダーSを下塗に使用するなど必要な処理を行ってください。
13. 旧塗膜が高弾性(壁面防水材)の場合は適用できない場合がありますので、予めご相談ください。

●塗料の一般的取扱注意事項

1. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないでください。
2. 塗料は使用する前に十分かき混ぜ均一な状態にしてください。多液形塗料の場合は、混合比に十分注意し、所定の割合で混合し均一になるまで十分にかき混ぜてください。また、小出しする場合は、必ずはかりを用い、正しい混合比で計量後、混合してください。
3. 希釈率、塗装間隔などは、規定の数値を厳守してください。
4. 開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは、出来るだけその日のうちに使用してください。
5. だけ缶に小分けする時は、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するだけ缶はきれいなものを使用してください。
6. 残った塗料は常にフタをする心がけてください。
7. 塗料の保管は、直射日光や雨風を避け、出来るだけ屋内倉庫に貯蔵、管理するようにしてください。
8. 使用した塗装器具等は、直ちに水洗いしてください。

●緊急時および応急処置

1. 目に入った場合は、直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、出来るだけ早く医師の手当てを受けてください。
2. 皮膚に付着した場合は、石けん水でよく洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の手当てを受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じて、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 誤って飲み込んだときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後、処理してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。 ※ご不明な点に関しては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神東塗料

本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。



●この印刷物は環境に優しい大豆油インキを使用しております。
●この印刷物は水なし印刷で作成しております。